

施設紹介〈第6回〉

当院は堺市のほぼ真ん中に位置する147床の医療療養型病院です。回復期病棟は有しませんが、回復期対象症例の受け入れや回復期リハの期限が切れてしまったものの在宅へ向けての環境整備や機能回復が必要な患者さんを受け入れております。

維持期のリハを中心におこなっておりますので、訪問診療・訪問リハなどについて積極的に取り組んでおります。重症度が高くても、時間をかければ在宅復帰できるケースもあり、リハビリテーションの持つ意義や意味について患者さんやその家族から教えられることが多々あり日々研鑽の必要を感じております。訪問診療はリハ医を中心におこなっておりますが、月300件程度の訪問診療をおこない、全身状態のチェックと機能障害・能力障害のチェックのみならず、定期的に病院への送迎をおこない検査(CT・心電図・エコー・VFなど)をおこなってその裏づけをとるようにしております。社会的不利に対しても定期的にサービス担当者会議などを開催し、病態変化に応じたサービス提供などについて見直しをおこなっております。

当院のもうひとつの特徴としては、嚥下障害への取り組みです。年間300件程度のVF検査をおこなっております。多くは院内症例に対して検査をおこなっておりますが、周辺病院や介護保険施設からの検査・嚥下評価依頼なども増加しております。また、リハ医が法人内の介護保険施設で週1回の頻度で嚥下回診をおこない、VE・VFなどによる評価を必要に応じて施行し、安全かつ挑戦的に経口摂取への取り組みをおこな



特別特定医療法人生長会 愛風病院

大阪府堺市中区深阪2430番地
TEL: 072-278-1111
URL: <http://www.seichokai.or.jp/>



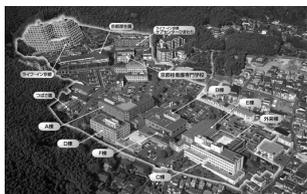
っております。その結果、介護保険施設からの誤嚥性肺炎による病院への搬送件数は減少傾向にあり、他職種へ摂食嚥下障害に対する認知度が上がってきていることを嬉しく思っております。

更に、当院と法人内の介護保健施設との連携を密におこない、通院・通所リハをおこなうことで機能維持と低下予防などに対する取り組みもおこなっております。維持期リハビリテーションの有効性などについては地方会などで報告させて頂いており、今後も慢性期リハや嚥下リハなどについてのアプローチを継続し、報告したいと考えております。

近畿地方会の先生方は急性期・回復期などのリハビリテーションを担っておられると思いますが、それ以降の慢性期・在宅療養などについて積極的に取り組んでおりますので、ご紹介頂ければ幸いです。



外来診療時間：
月曜日～土曜日
(午前8時45～午後12時)
訪問診療時間：
月曜日～土曜日
(午前9時～午後5時)
リハビリテーション科 部長
小西英樹



社会福祉法人京都社会事業財団 京都桂病院

京都市西京区山田平尾町17
TEL: 075(391)5811
URL: <http://katsura.com/>



京都社会事業財団は1915年京都府慈善協会に始まる。知事が会長を歴任した京都府管理の財団法人で、1951年社会福祉事業法の制定により京都府から独立、医療福祉諸施設を有し、戦前から今日まで社会福祉と医療に貢献している。その一つである京都桂病院は、1937年結核療養所として創設され呼吸器外科を中心に発展、現在は京都市西京区の地域基幹病院として最先端医療を担う。「常に社会福祉の理念に徹して医療を提供すること」が創立以来病院の信条である。

敷地1万6千坪、病床数585床(一般525、開放型病床5、結核60)、25診療科6センター、7:1看護、医師数145人、昨年手術件数3230件、救急車搬入数2027台、平均在院日数13.4日の急性期総合病院で、救急指定、地域がん診療連携拠点、臨床研修指定、外国医師臨床研修指定、DPC対応、日本医療機能評価機構認定病院である。

リハセンターは、2003年1月に京都府第1号のリハ単独診療科として独立した。脳血管疾患(I)、運動器疾患(I)、呼吸器疾患(I)、心大血管疾患(I)のリハ医学会研修施設で、スタッフは専従医(リハ専門医)1人、リハ専任医(関連診療科部長)12人、理学療法士13人(呼吸療法認定士6人、日本心臓リハ学会指導士3人)、作業療法士5人(福祉用具プランナー2人)、言語聴覚士2人、事務・助手5人、兼任ケースワーカー4人。

毎月の新規リハ依頼は210～240人。整形外科、神経内科はもちろん、呼吸器、心臓血管、消化器、腎透析の4センターの内外科、乳腺外科、一般内科、耳鼻咽喉科、小児科、産婦人科などほぼ全診療科から依頼を受け、医療的に不安定な超急性期ベッドサイドから、疾患治療と並行

した急性期リハ医療を展開し、安全で良好なリハ成績を全国に先がけて発信している。ADL評価はFIMを採択、1年間準備して全病棟の看護師評価もBIからFIMに変更した。リハ患者の転帰は在宅/転院/死亡(原疾患死)が8/1/1。

全麻下の開胸・開心・開腹手術全例に、術前および抜管当日から周術期呼吸リハを実施しているが、肺葉切除以上の肺癌手術では、術後の気管支鏡吸痰術施行者が年間18.4%から1.4%に減少、術後在院日数も29.0日から18.4日に短縮、合併疾患の無い約9割は翌日から棟内歩行を開始し、1週間前後で20分連続歩行可のリハゴールを達成する。整形外科手術や乳腺外科手術にも、全例に術前および術後当日からリハを開始、肺癌術後の上肢浮腫が減少している。

COPDなど外来主体の慢性呼吸器疾患包括的呼吸リハでは、安全管理の観点からECGモニター下でリハ医が運動処方を実施、急性増悪時には入院翌日から介入して早期退院を促進し、再入院防止に奏功している。また心臓血管センター医師と連携し、急性心疾患の安全な早期離床、早期退院、社会復帰に尽力している。

週1回嚥下造影検査を行い、多種職による摂食嚥下チームに主治医や担当看護師が加わる嚥下カンファレンスで、評価と方針決定を実施する。複数の回復期病院や療養型病院と、地域連携バスや定期コールを活用した潤沢な病院間連携を行っている。

現在は、摂食嚥下障害院内スクリーニング体制の確立、がん疾患各ステージへの積極的組織的介入、緩和医療委員会と共に終末期リハに取り組んでいる。

ところで、急性期総合病院においては院内リハ体制の構築が、少ない人的リハ資源の有効活用、リハ医療の質と安全性の向上および院内リハ連携の推進に不可欠と考えている。当院ではリハ部長を委員長として、リハ専任医である各診療部長を核にしたリハ運営委員会および全病棟看護科長とスタッフで構成する

リハ実務者連絡委員会を月1回開催。その下に、週1回の全病棟リハカンファレンスと、週1～月1回の、診療科医師を含めた多種職で構成する摂食嚥下(嚥下カンファレンスとは別)、乳癌、心疾患、脳疾患、整形外科疾患リハ会議を組織下している。NSTや褥創等の各種委員会および各診療科主催カンファレンスのメンバーでもある。

脳卒中や骨折疾患の急性期一回復期一方向型連携は国家施策として整備されてきたが、急性期一在宅の循環型地域リハ連携は机上に上がらない。高齢者や虚弱者のADL・QOLを損なう最大のイベントは「入院」であり、疾患の如何を問わず人は急性期病院に入院する。まず急性期病院が院内に組織的な予防リハの体制を整えなければ、障害の発生進行と望まぬ転帰を防ぎ得ないのではないか。地域の継続的で均一なリハ診療圏の構築が、急性期リハの職務と言えよう。「病気を治して頂き有難うございます。でも歩けなくなったので家には連れて帰れません」と家族に言われたい世の中に、なってほしいと願っている。

リハビリテーションセンター 部長 宮崎 博子



日本リハビリテーション医学会近畿地方会 専門医・認定臨床医生涯教育研修会カレンダー

日本リハ医学会近畿地方会 第26回学術集会および専門医・認定臨床医生涯教育研修会

日時：2009年2月28日(土) 13:00～18:00

会場：奈良県立医科大学 厳樞会館3F (奈良県橿原市四条町840 電話 07442-2-3051)

(大学本館から道路を隔てて東側 近鉄大阪線 八木駅下車徒歩15分タクシー5分)

演題1. 「代謝性ミオパチーとそのリハビリテーション」

神戸大学神経内科 荻田 典生 先生

演題2. 「ボツリヌス毒素注射による痙縮およびジストニアのコントロール」

滋賀県立成人病センターリハビリテーション科 中馬 孝容 先生

参加費：1000円、受講料：2000円(20単位一括)

担当幹事：森本 茂(西大和リハビリテーション病院 リハビリテーション科)

日本リハ医学会近畿地方会 専門医・認定臨床医生涯教育研修会

日時：2009年4月18日(土) 14:00～17:30

会場：兵庫医療大学M204教室 (神戸市中央区港島1-3-6 電話 078-304-3000)

(神戸「三宮」からポートライナー「市民病院前」下車西徒歩10分)

演題1. 「透析患者のリハビリテーション」

神戸大学大学院 保健学研究科 傳 秋光 先生

演題2. 「脳血管障害における超急性期リハビリテーション」

和歌山県立医科大学 リハビリテーション科 田島 文博 先生

演題3. 「腰痛のリハビリテーション」

岡山大学 総合リハビリテーション部 千田 益生 先生

担当幹事 平田 総一郎(神戸大学大学院保健学研究科)

参加費：1000円、受講料：3000円(30単位一括)

日本リハ医学会近畿地方会 専門医・認定臨床医生涯教育研修会

日時：2009年7月4日(土) 13:30～ 会場：京都大学芝蘭会館稲森ホール 演題：(3題を予定)

担当幹事：柿木 良介(京都大学医学部)

※当日は総会がございます。

日本リハ医学会近畿地方会 第27回学術集会および専門医・認定臨床医生涯教育研修会

日時：2009年9月5日(土) 会場：大阪医科大学 新講義棟 P101 演題：未定(2題を予定)

担当幹事：村尾 浩(大阪医科大学 総合医学講座 リハビリテーション医学教室)

日本リハ医学会近畿地方会 専門医・認定臨床医生涯教育研修会

日時：2009年10月10日(土) 13:00～16:00(予定) 会場：大阪市立総合医療センター さくらホール

演題：未定(2題を予定)

担当幹事：勝山 真介(東大阪市療育センター)

日本リハ医学会近畿地方会 専門医・認定臨床医生涯教育研修会

日時：2009年11月7日(土) 会場：兵庫県民会館 演題：未定

※当日は同じ会場で兵庫県リハ医学会学術集会が開催されます。

日本リハ医学会近畿地方会 専門医・認定臨床医生涯教育研修会

日時：2009年11月 会場：未定(京都市内) 演題：未定

※当日は同じ会場で京都地域リハビリテーション研究会が開催されます。

日本リハ医学会近畿地方会 第28回学術集会および専門医・認定臨床医生涯教育研修会

日時：2010年2～3月 会場：未定(滋賀県) 演題：未定

担当幹事：今井 晋二(滋賀医科大学)